

決算報告書

(平成18事業年度)

平成19年6月

国立大学法人北海道大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人北海道大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	42,891	42,891	0	
施設整備費補助金	1,634	1,634	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	464	477	13	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	113	113	0	
自己収入	31,099	31,465	365	
授業料、入学料及び検定料収入	10,163	10,192	29	(注2)
附属病院収入	20,485	20,608	123	(注3)
財産処分収入	0	2	2	(注4)
雑収入	451	660	209	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,620	10,629	2,009	(注6)
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	137	0	△ 137	(注7)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	84,961	87,211	2,250	
支出				
業務費	59,936	57,948	△ 1,988	(注8)
教育研究経費	41,012	38,100	△ 2,911	
診療経費	18,924	19,847	922	
一般管理費	9,356	8,635	△ 720	(注9)
施設整備費	1,747	1,747	0	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	464	464	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,623	10,356	1,733	(注10)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	4,832	4,834	1	(注11)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	84,961	83,987	△ 974	
収入-支出	0	3,224	3,224	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、保育園運営補助金が増加したため、予算額に比して決算額が150百万円多額となっております。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料において主として在籍学生が増加したため、予算額に比して決算額が410百万円多額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、在院日数の短縮、外来患者数の増に努めたこと等により予算額に比して決算額が1230百万円多額となっております。
- (注4) 財産処分収入については、土地の譲渡を行ったため、予算額に比して決算額が200百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として余裕資金の運用による財務収益、家畜治療収入、農場演習林収入等の増収に努めたため、予算額に比して決算額が1050百万円多額となっております。
- (注6) 予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,467百万円多額となっております。
- (注7) 予算段階で予定していた承継剰余金を受け入れなかったため、予算額に比して決算額が137百万円少額となっております。
- (注8) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が2,696百万円少額となっております。
- (注9) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が595百万円少額となっております。
- (注10) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,264百万円多額となっております。
- (注11) 長期借入金償還金については、利率が変動したことで債務償還経費に差額が生じたことにより、予算額に比して決算額が100百万円多額となっております。